

**財務・契約系情報システム Ver.5  
(進捗管理システム・フロントシステム等) の  
請求書電子処理機能の追加**

**仕様書**

## 目 次

1. 一般仕様	- 1 -
1.1 件名	- 1 -
1.2 目的	- 1 -
1.3 作業内容	- 1 -
1.4 納期	- 1 -
1.5 納入場所	- 1 -
1.6 検収条件	- 1 -
1.7 契約不適合責任	- 2 -
1.8 検査員及び監督員	- 2 -
1.9 提出図書等	- 2 -
1.10 支給品	- 2 -
1.11 貸与品	- 3 -
1.12 品質管理	- 3 -
1.13 産業財産権等、コンピュータプログラム等の取扱い	- 3 -
1.14 秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保	- 3 -
1.15 グリーン購入法の促進	- 3 -
1.16 協議	- 3 -
2. 技術仕様	- 4 -
2.1 全体概要	- 4 -
2.1.1 財務・契約系情報システムの機能追加箇所について	- 4 -
2.1.2 設計方針について	- 5 -
2.1.3 現行システム保守作業との関係について	- 5 -
2.1.4 特記事項	- 5 -
2.2 進捗管理システムへの請求書電子処理機能追加作業	- 6 -
2.2.1 支出契約・収入契約における請求書登録機能	- 6 -
2.2.2 電子決裁連携機能	- 8 -
2.2.3 請求書登録処理関連業務及び状態の追加	- 10 -
2.3 財務契約系電子決裁システムへの請求書電子処理に関するマスタ追加作業	- 12 -
2.3.1 請求書電子処理に関する電子決裁追加	- 12 -
2.4 財務契約系フロントシステムへの請求書電子処理機能追加作業	- 12 -
2.4.1 予算使用票・収入票請求業務起案処理画面における請求書登録機能の追加	- 12 -
2.4.2 進捗管理システム業務管理用 IF の追加	- 17 -
2.4.3 予算使用票等請求業務帳票における確定差引日および支払日の表示	- 17 -

2.5	契約管理支援システムへの請求書電子処理機能追加作業.....	- 18 -
2.5.1	概要 .....	- 18 -
2.6	財務契約系フロントシステムと請求書発行システムのデータ連携機能追加.....	- 19 -
2.6.1	概要 .....	- 19 -
2.7	請求書電子処理機能追加作業に対する試験.....	- 20 -
2.7.1	請求書電子処理機能追加作業に対する試験 .....	- 20 -

## 1. 一般仕様

### 1.1 件名

財務・契約系情報システム Ver. 5（進捗管理システム・フロントシステム等）の請求書電子処理機能の追加

### 1.2 目的

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、機構と略す）では財務・契約系の基幹業務の効果的かつ効率的な遂行のため、「財務・契約系情報システム」の開発及び運用を行ってきた。

財務・契約系情報システムにおいて、財務・契約系業務電子処理の実装が着実に進められているが、受注業者から受領した請求書類の処理はまだ電子処理の手続きが整っておらず、関連する一部業務においては電子処理の利用率が低い状況である。

全国各地に拠点を構える機構において、電子処理のニーズは大きいものであり、迅速かつ効率的な事務処理の実現のために当該機能を開発する必要がある。

本調達は、財務・契約系情報システム（進捗管理システム、財務契約系電子決裁システム、財務契約系フロントシステム、契約管理支援システム）及び請求書発行システムへ請求書電子処理業務に関する機能追加を行うものである。

### 1.3 作業内容

- (1) 進捗管理システムへの請求書電子処理機能追加作業
- (2) 財務契約系電子決裁システムへの請求書電子処理機能追加作業
- (3) 財務契約系フロントシステムへの請求書電子処理機能追加作業
- (4) 契約管理支援システムへの請求書電子処理機能追加作業
- (5) 財務契約系フロントシステムと請求書発行システムへのデータ連携機能追加作業
- (6) 上記(1)～(5)に対する試験

### 1.4 納期

令和9年2月26日（金）

### 1.5 納入場所

茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

システム計算科学センター 原子力科学研究所 情報交流棟内指定場所

### 1.6 検収条件

本仕様書「1.9 提出図書等」の完納 及び 本仕様書「2. 技術仕様」に定める仕様で開発された本機能が検査要領書の項目に従って正常動作することの確認をもって検収とする。

## 1.7 契約不適合責任

検収後 1 年間以内に設計・製作上の不適合が発見された場合、無償にて速やかに改修を行うものとする。

## 1.8 検査員及び監督員

検査員

- (1) 一般検査 管財担当課長
- (2) 技術検査 システム計算科学センター業務 DX 推進室室員

## 1.9 提出図書等

- (1) 作業工程計画書 (1 部、契約後速やかに)
- (2) 作業体制表 (1 部、契約後速やかに)
- (3) システム開発計画書 (1 部、契約後速やかに)
- (4) 議事録 (1 部)
- (5) 作業工程表 (1 部)
- (6) 作業報告書 (1 部)
- (7) 基本設計書 (1 部)
- (8) 詳細設計書 (1 部)
- (9) 運用管理者用操作マニュアル (1 部)
- (10) 利用者用操作マニュアル (1 部)
- (11) 検査要領書 (1 部、検査実施 1 週間前)
- (12) 検査成績書 (1 部、検査後速やかに)
- (13) ソフトウェア構成表 (1 部)
- (14) ソースコード 及び 実行形式ファイル (電子媒体のみ)
- (15) 委任又は下請負届 (対象となる場合のみ) (1 部、作業開始 2 週間前)
- (16) 上記(1)～(14)を格納した CD-R 等電子媒体 (1 式)

(提出場所：システム計算科学センター業務 DX 推進室)

提出資料はすべて日本語で記述し、マイクロソフト株式会社製のオフィス製品 (Word、Excel 等) で編集が可能なデータ形式で納品すること。

設計書・操作マニュアルについては、貸与する現版の設計書を追記・修正する形で作成すること。また、改版履歴として追記・修正箇所を明確にすること。

上記に加えて受注者は資本関係・役員の情報、本契約の実施場所、従事者の所属・専門性 (情報セキュリティに係る資格・研修等)・実績及び国籍についての情報を記した書類を契約後速やかに提出すること。

## 1.10 支給品

なし

## 1.11 貸与品

- (1) 財務・契約系情報システム Ver. 5 ドキュメント・ソースコード・実行形式ファイル 一式
- (2) 財務・契約系情報システム検証環境
- (3) 請求書発行システムドキュメント・ソースコード・実行形式ファイル 一式
- (4) 請求書発行システム検証環境
- (5) 作業場所（情報交流棟南ウイング外来者用作業室）

上記(1)に関して、本調達の履行完了時に発注者へ返還するものとする。

なお、本調達の履行に必要な開発環境・ミドルウェアに関しては受注者が別途用意することとする。

また、発注者が許可する場合には(2)に対するリモートアクセスを可能とする。

## 1.12 品質管理

本機能追加業務の履行に当たっては、品質管理専任の部署もしくは担当者を立てる等、十分な品質管理を行うこととする。

## 1.13 産業財産権等

産業財産権等の取扱いについては、別紙「産業財産権特約条項」に定められたとおりとする。

## 1.14 秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保

秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保については別紙「コンピュータプログラム作成等業務契約条項」に定められたとおりとする。

## 1.15 グリーン購入法の促進

- (1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA 機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。
- (2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

## 1.16 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、機構と協議のうえ、その決定に従うものとする。

## 2. 技術仕様

### 2.1 全体概要

#### 2.1.1 財務・契約系情報システムの機能追加箇所について

下記①～⑤の要件を満たすこと。

財務・契約系情報システムの主な機能追加箇所を図 1-1 に示す。

- ① 請求書電子処理に関する機能を進捗管理システムへ実装すること。
- ② 請求書電子処理に関するマスタを財務契約系電子決裁システムへ整備すること。
- ③ 請求書電子処理に関する機能を財務契約系フロントシステムへ実装すること。
- ④ 請求書電子処理に関する機能を契約管理支援システムへ実装すること。
- ⑤ 予算使用票・収入票起案業務と請求書発行業務に関するデータ連携処理を財務契約系フロントシステムと請求書発行システムへ実装すること。

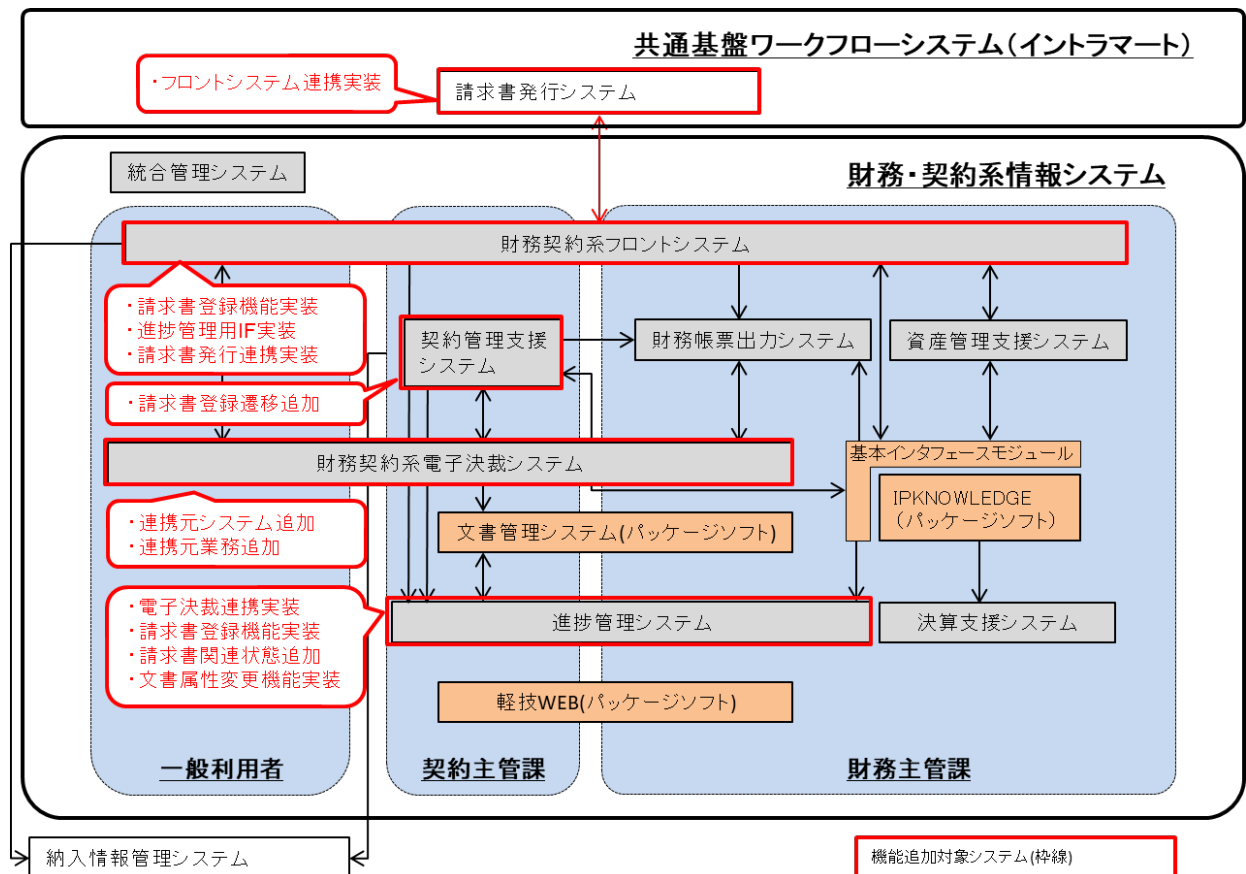


図 1-1 財務・契約系情報システムの機能追加・改修箇所

### 2.1.2 設計方針について

下記①～④の要件を満たすこと。

- ① 財務・契約系情報システムの既存仕様（画面、帳票、DB等）に準拠して設計・開発を行うこと。
- ② 請求書データのアップロード及び付帯する属性情報の登録において、当該請求書を基に発行される会計伝票データとの紐づきを管理できるように実装を行うこと。
- ③ 財務契約系電子決裁システムで請求書に関する決裁を経て、文書管理システムに請求書データおよび付帯する属性情報の登録を行うこと。
- ④ 請求書業務の進捗によって他業務を進行不能にしないこと。

### 2.1.3 現行システム保守作業との関係について

進捗管理システム・財務契約系電子決裁システム・財務契約系フロントシステム・契約管理支援システム・請求書発行システムは現在運用中のシステムであることから、本調達の実施期間中に障害対応・仕様変更に起因するソースコードの追加・修正が発生する。これらソースコードの追加・修正が発生した場合、本調達の受注者は現行システムの保守業者より最新のソースコードを受領して本改修に反映させること。

### 2.1.4 特記事項

設計、開発、試験の各工程で機構担当者の確認を受けて、次工程へ進む了承を得ること。上記については各工程が完了次第に凍結するという意味ではなく、次工程に進んで差支えない範囲で当該工程が行われていることを確認するものである。

設計を行う上で主管課部門を交えて詳細な要件定義を行う必要が生じた場合、機構側システム担当者同席の元、主管課部門へのヒアリングを実施すること。

発注者が本調達に対して工程遅延の兆候があると判断した場合に、受注者は人員体制強化など、工程遅延回復の対策を速やかに講じること。

発注者が特に求める場合において、当機構内で作業を実施すること。

## 2.2 進捗管理システムへの請求書電子処理機能追加作業

### 2.2.1 支出契約・収入契約における請求書登録機能

下記①～⑤の要件を満たすこと。

詳細（タブー1）画面は図 2-1 を参考にする。また、請求書登録処理画面は図 2-2 を参考にする。

- ① 契約番号、取引相手先、検収回数組み合わせごとに請求書登録できるようにすること。
- ② 請求書登録を行う際に、請求書データに加えて付帯する属性情報も入力できるようにすること。入力する情報については、文書管理システムの保管先を特定するための情報（会計年度・帳票番号・帳票種別等）、電子帳簿保存法の保管要件を満たすための情報（取引金額・取引日・取引先・電子帳簿保存種別等）、その他検索性を担保するための情報（科研費区分・支払予定日等）を取り入れること。また、他システムで入力済みの情報についてはそれを参照して表示し、入力を制限すること。
- ③ 請求書登録画面に参考情報として、財務契約系フロントシステムにおける当該契約番号と検収回数に相当する一般検査の完了日と、2.3.1 で後述する財務契約系電子決裁システムにおける当該請求書に関する電子決裁完了日を表示すること。
- ④ 詳細（タブー1）画面における請求書登録業務の担当箇所について、支出契約・収入契約の場合は「契約部」と表示すること。
- ⑤ 詳細（タブー1）画面における請求書登録業務の担当者について、支出契約・収入契約の場合は契約担当者の氏名を表示すること。

# 進捗管理システム

## 詳細 (タブ-1) 画面

[所属] 本

タブ-1    **タブ-2**    タブ-3

契約番号 : 0801C00004 ①

契約枝番 : 00

取引先 : 会社00000000100 ①

チェック項目	関連情報入力	終了有無	ステータス	処理日時	担当箇所	担当者
契約請求		<input checked="" type="checkbox"/>		2025/11/12 13:24:56	請求元	VHGK02
電子決裁		<input checked="" type="checkbox"/>	通知済		請求元	
契約受付登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
実施(引合)回議書データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
質問・回答書作成依頼書データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
技術検査登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
数量確認データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
予定価格書データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
契約締結データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	契約部	-
契約締結日、通知書データ登録		<input checked="" type="checkbox"/>		2025/12/11 13:32:06	契約部	VCBS03

チェック項目	関連情報入力	終了有無	ステータス	処理日時	担当箇所	担当者
支出契約決議登録		<input checked="" type="checkbox"/>		-	経理課	-
資産判定		<input type="checkbox"/>			財務課	
勘定科目仮判定		<input type="checkbox"/>			財務課	

検収回数 : 3 ①

チェック項目	関連情報入力	終了有無	ステータス	処理日時	担当箇所	担当者
請求書登録	登録処理	<input type="checkbox"/>	チェック済		契約部	VHGK02
負担行為再登録判断		<input type="checkbox"/>	チェック済		経理課	
業務通知(支払予定日)	yyyy/mm/dd	<input type="checkbox"/>			財務課	
業務通知(支払方法)		<input type="checkbox"/>			財務課	
支出決議登録		<input type="checkbox"/>		-	財務課	-
支払バッチ登録		<input type="checkbox"/>			財務課	
支払実績登録		<input type="checkbox"/>			財務課	

図 2-1 詳細 (タブ-1) 画面

# 進捗管理システム

## 請求書登録処理画面

電子決裁

決裁ルート

登録ファイル : ファイルの選択 請求書.pdf ①

**【属性情報】**

会計年度 : R08

請求書金額 : 150,000 円

取引日 : yyyy/mm/dd

取引先 : 会社00000000100 ②

帳票番号 : 0801C00004

帳票種別 : AB\_11\_請求書(立替払い請求書含む)

電子帳簿保存種別 : スキャナ保存

科研費区分 :

支払予定日 : yyyy/mm/dd

**【参考情報】**

一般検査完了日 : 2026/07/06 11:25 ③

電子決裁完了日 :

図 2-2 請求書登録処理画面

## 2.2.2 電子決裁連携機能

下記①～⑩の要件を満たすこと。

電子決裁完了前の画面は図 2-3、電子決裁完了後の画面は図 2-4 を参考にすること。進捗管理システムに作成されるインタフェース（以下、IF とする。）の仕様については既存システムに準拠すること。

- ① 電子決裁ボタンを押下することにより、財務契約系電子決裁システムの案件登録・更新依頼 IF を用いて、請求書登録機能で登録された請求書データへのリンク情報と属性情報、及び決裁完了後の文書管理システムでの保管先を財務契約系電子決裁システムへ連携すること。
- ② 財務契約系電子決裁システムで案件の取止めや否認を実施した際に、進捗管理システムの決裁解除通知 IF で通知を受け取り、進捗管理システムから再度決裁連携を行えること。
- ③ 財務契約系電子決裁システムへの起案について、契約番号に対する通算の案件数を管理し、契約番号・取引先・検収回数に対する結びつきを管理すること。当該番号について、各種連携 IF の「業務 ID2」に用いること。
- ④ 財務契約系電子決裁システムで決裁中及び決裁済みの案件について、契約番号・取引先・検収回数に対して同時に 1 件しか存在しないように起案処理の制御を行うこと。
- ⑤ 財務契約系電子決裁システムでの決裁中及び決裁完了後に「決裁ルート操作」ボタンによって、財務契約系電子決裁システムの決裁中の当該案件を別画面で表示すること。
- ⑥ 財務契約系電子決裁システムから決裁完了後に、進捗管理システムの決裁完了通知 IF を経由して請求書データを取得可能とすること。
- ⑦ 財務契約系電子決裁システムでの決裁完了後に、進捗管理システムに登録されていた請求書データを削除し、代わりに文書管理システム上の請求書データへのリンク情報を表示すること。
- ⑧ 決裁完了後に「再決裁」ボタンによって、財務契約系電子決裁システムの案件削除依頼 IF を用いて、財務契約系電子決裁システムの案件データおよび文書管理システムに保管されている請求書登録データの削除を行えること。当該ボタンの押下時に警告画面を表示してから削除処理を行うこと。
- ⑨ 決裁完了後に「決裁差戻」ボタンによって、財務契約系電子決裁システムの最終ノード追加依頼 IF を用いて、財務契約系電子決裁システムの決裁完了を取消し、最終ノードの後に起案者ノードを追加すること。当該ボタンの押下時に警告画面を表示してから処理を行うこと。
- ⑩ 財務契約系電子決裁システムでの決裁完了後に、属性再連携ボタンによって改めて属性情報のみ文書管理システム上の請求書データに反映できること。当該ボタンの押下時に警告画面を表示してから処理を行うこと。

## 進捗管理システム

### 請求書登録処理画面

①、② 電子決裁

決裁ルート

登録ファイル：

**【属性情報】**

会計年度：	R08
請求書金額：	150,000 円
取引日：	yyyy/mm/dd <input type="text"/>
取引先：	会社0000000100
帳票番号：	0801C00004
帳票種別：	AB_11_請求書(立替払い請求書含む)
電子帳簿保存種別：	スキャナ保存 <input type="text"/>
科研費区分：	
支払予定日：	yyyy/mm/dd <input type="text"/>

**【参考情報】**

一般検査完了日：	2026/07/06 11:25
電子決裁完了日：	

図 2-3 電子決裁完了前請求書登録画面

## 進捗管理システム

### 請求書登録処理画面

⑩ 属性再連携 決裁ルート操作 ⑤

⑧ 再決裁 決裁差異 ⑨

登録ファイル：

**【属性情報】** ⑦

会計年度：	R08
請求書金額：	150,000 円
取引日：	yyyy/mm/dd <input type="text"/>
取引先：	会社0000000100
帳票番号：	0801C00004
帳票種別：	AB_11_請求書(立替払い請求書含む)
電子帳簿保存種別：	スキャナ保存 <input type="text"/>
科研費区分：	
支払予定日：	yyyy/mm/dd <input type="text"/>

**【参考情報】**

一般検査完了日：	2026/07/06 11:25
電子決裁完了日：	2026/07/08 15:45

図 2-4 電子決裁完了後請求書登録画面

### 2.2.3 請求書登録処理関連業務及び状態の追加

下記①～⑥の要件を満たすこと。

支出契約・収入契約画面は図 2-5、予算使用票・収入票画面は図 2-6 を参考にすること。

- ① 業務種別ごと（支出契約、収入契約、予算使用票、収入票、予算使用票（戻入）、収入票（戻入）、単価発注等）に表示する業務項目を変更できるようにすること。
- ② 支出契約・収入契約に関する案件の詳細（タブー1）画面において、「請求書登録」業務の下に新たに業務項目「負担行為再登録判断」を作成し、以下に該当する条件で終了済みとすること。
  - ・請求書登録に関する電子決裁完了後に、当該契約の負担行為金額と登録された請求書金額が一致している。
  - 当該業務項目の担当箇所は経理課とすること。
- ③ 予算使用票・収入票に関する詳細（タブー1）画面における状態項目において、「請求書登録」業務を他システムでの実施とすること。以下に該当する条件で終了済みとすること。
  - ・フロントシステムにおいて、請求書が登録された状態で請求起案についての決裁完了、若しくは請求書登録の決裁完了。
  - 上記判断について、後述する
- ④ 予算使用票・収入票に関する詳細（タブー1）画面における状態項目において、「請求書登録」業務の下に新たに業務項目「支出決定合議」を作成し、以下に該当する条件で終了済みとすること。
  - ・「支出決定合議」が不要な案件における請求書登録に関する電子決裁の完了、若しくは当該業務項目上の電子決裁ボタンより財務契約系電子決裁システムに連携された案件の電子決裁の完了。
  - 支出決定合議の要否については 2.4.2 ② で後述する IF より判断を行うこと。当該業務項目の担当箇所は経理課とすること。
- ⑤ 一覧表示画面における検索機能において、①、②に関連する状態を追加して、経理課の処理が必要となる対象案件を抽出可能とすること。
- ⑥ ステータス項目をそれに変更することで当該業務の終了条件を満たすことが出来るステータスを実装すること。

検収回数：2

チェック項目	関連情報入力	終了有無	ステータス	処理日時	担当箇所	担当者
請求書登録	登録処理	<input checked="" type="checkbox"/>	チェック済	2026/07/07 13:04	契約部	VHGK02
② 負担行為再登録判断		<input type="checkbox"/>			経理課	
業務通知（支払予定日）	yyyy/mm/dd	<input type="checkbox"/>			財務課	
業務通知（支払方法）		<input type="checkbox"/>			財務課	
支出決議登録		<input type="checkbox"/>		-	財務課	-
支払バッチ登録		<input type="checkbox"/>			財務課	
支払実績登録		<input type="checkbox"/>			財務課	

図 2-5 支出契約・収入契約における経理課業務

検収回数：1				終了有無	ステータス	処理日時	担当箇所	担当者
チェック項目	関連情報入力							
③ 請求書登録				<input type="checkbox"/>	▼		請求元	210031
④ 支出決定合議	電子決済	▼		<input type="checkbox"/>	▼		経理課	
業務通知(支払予定日)	yyyy/mm/dd	📅		<input type="checkbox"/>	▼		財務課	
業務通知(支払方法)	▼			<input type="checkbox"/>	▼		財務課	
即支出決議登録				<input type="checkbox"/>	▼		財務課	
支払バッチ登録				<input type="checkbox"/>	▼		財務課	
支払実績登録				<input type="checkbox"/>	▼		財務課	

図 2-6 予算使用票・収入票における経理課業務

## 2.3 財務契約系電子決裁システムへの請求書電子処理に関するマスタ追加作業

### 2.3.1 請求書電子処理に関する電子決裁追加

下記①～③の要件を満たすこと。

- ① 連携元システムマスタに進捗管理システムを追加すること。
- ② 連携業務マスタに請求書電子処理に関する業務マスタ（請求書登録・支出決定合議等）を追加すること。
- ③ それぞれの業務の決裁完了時には決裁合議表を含めて文書管理システムへ格納を行うこと。

## 2.4 財務契約系フロントシステムへの請求書電子処理機能追加作業

### 2.4.1 予算使用票・収入票請求業務起案処理画面における請求書登録機能の追加

下記①～⑭の要件を満たすこと。

予算使用票等請求起案処理画面について、本紙タブは図 4-1、請求書登録タブは図 4-2 を参考にすること。

- ① 予算使用票・収入票請求業務起案処理画面に、請求書登録タブを追加すること。
- ② 本紙タブに起案時に請求書を添付するか選択する項目を追加すること。
- ③ 請求書登録タブにおいて、本紙タブで登録された支払相手先ごとに、請求書データおよび付帯する属性情報が登録できること。このとき、機構側で請求書を発行して請求を行う場合、請求書データの登録がなくても登録を可能とすること。入力する情報については、文書管理システムの保管先を特定するための情報（会計年度・帳票番号・帳票種別等）、電子帳簿保存法の保管要件を満たすための情報（取引金額・取引日・取引先・電子帳簿保存種別等）、その他検索性を担保するための情報（科研費区分・登録年月日）を取り入れること。また、他画面で入力済みの情報についてはそれを参照して表示し、入力を制限すること。
- ④ 請求書情報が登録されている状態で財務契約系電子決裁システムから予算使用票・収入票起案処理についての決裁完了通知 IF が実行された場合、請求書情報について決裁完了済みとしてその表示を行うこと。
- ⑤ 表 4-1 に示すように予算使用票・収入票請求業務の起案種別を基に管財担当部署の一般検査の有無を判別する。それをマスタとして管理し、変更・追加ができるようにすること。
- ⑥ 表 4-2 に示すように予算使用票・収入票請求業務の起案種別を基に経理課による支出決定合議の有無を判別する。それをマスタとして管理し、変更・追加ができるようにすること。
- ⑦ 請求書情報が登録されている状態で財務契約系電子決裁システムから予算使用票・収入票請求起案処理についての決裁完了通知 IF が実行され、本紙タブの起案種別が⑤で管理している条件に合致した場合、当該案件の拠点情報（請求番号の 3, 4 桁目）を基に設定されている複数メールアドレスに通知を行うこと。通知先となるメールアドレスについてはマスタで管理して変更できるようにすること。

- ⑧ 請求書情報が登録されている状態で財務契約系電子決裁システムから予算使用票・収入票請求起案処理についての決裁完了通知 IF が実行され、本紙タブの起案種別が⑥で管理している条件に合致した場合、当該案件の拠点情報（請求番号の3,4桁目）を基に設定されている複数メールアドレスに通知を行うこと。通知先となるメールアドレスについてはマスタで管理して変更できるようにすること。
- ⑨ ②の項目で「起案時に請求書を添付する」としている場合、請求書登録タブにおいて各支払先に請求書情報が登録されていなければ請求業務の起案登録処理を行えないようにする。
- ⑩ ②の項目で「起案時に請求書を添付しない」としている場合、請求業務の決裁後に請求書登録についての電子決裁を請求書登録タブ上より起案できること。再決裁や決裁差異等の他業務の電子決裁と同様の処理を備えること。
- ⑪ 請求書情報が登録されている状態で財務契約系電子決裁システムから請求書登録処理についての決裁完了通知 IF が実行された場合、請求書情報について決裁完了済みとしてその表示を行うこと。
- ⑫ 請求書情報が登録されている状態で財務契約系電子決裁システムから請求書登録処理についての決裁完了通知 IF が実行された場合、本紙タブの起案種別を基に⑦⑧と同様の処理を行うこと。
- ⑬ 財務契約系電子決裁システムの案件登録・更新依頼 IF を用いて連携される請求書データの格納先 URL について、予算使用票・収入票請求起案処理と請求書登録処理のどちらにおいても、電子帳簿保存法に対応するためのキャビネットの請求書登録業務に関する場所に保管されるようにすること。
- ⑭ 請求書発行システムで請求書を発行する場合、フロントシステムでの請求書登録は不要となる。請求書発行の有無を登録できる項目を作成し、請求書発行が行われる場合は他の項目の入力と財務契約系電子決裁システムへの連携を制限すること。

予算使用票起案処理 (SE1A11G01) ヘルプ

【所属】 業務D×推進室 【氏名】 210091 太郎 【処理日】 R08/03/04

請求番号(参照用)  ---- 実行 起案一覧 メニュー

⑨ 登録 印刷 削除 クリア

経決数 電子決数 再編集 再決数

電子決数一覧 決数ルート操作

決数ルート

一時保存  実行

主抵 購入物品自記表 検収メール通知 請求書念書 ①

処理区分

会計年度

起案者  
所属  検索 業務D×推進室  
氏名  検索 210091 太郎 内線

請求番号  請求書類添付  あり  なし ②

起案年月日  請求分類

起案種別  関連請求番号

選択	予算所掌箇所	予算科目	予定金額 【単位：円】	支払相手先	確定金額 【単位：円】
<input type="checkbox"/>	業務D×推進室	1-10707001A2	5 円	会社○○○○○○○○1○ ○	1 円
				会社○○○○○○○○4○ ○	4 円
<input type="checkbox"/>	業務D×推進室	2-10707002A0	5 円	会社○○○○○○○○1○ ○	1 円
				会社○○○○○○○○4○ ○	4 円
				支払相手先	確定金額合計 【単位：円】
				会社○○○○○○○○1○ ○	2 円
				会社○○○○○○○○4○ ○	8 円

③

図 4-1 予算使用票・収入票請求起案処理画面 本紙タブ

予算使用票起案処理 (SE1A4GCommon) ヘルプ

【所属】 業務DX推進室 【氏名】 210091 大部 【処理日】 R08/03/02

請求番号(参照用)

電子決裁

決裁ルート

本紙 購入物品内訳表 検収メール通知 請求書登録

支払相手先	確定金額合計 【単位：円】	登録状況	決裁状況
会社〇〇〇〇〇〇〇〇1 〇〇	2 円		
会社〇〇〇〇〇〇〇〇4 〇〇	8 円		

電子決裁

決裁ルート

⑭ 送付種別  通常  請求書発行システム

③ 会計年度 R08

取引先 0000000100:会社0000000100

金額 2 円 登録年月日 R08/02/03

請求書

ファイルが選択されていません

電帳法保存種別

図 4-2 予算使用票・収入票請求起案処理画面 請求書登録タブ

表 4-1 予算使用票の起案種別による管財担当部署の一般検査の有無

No.	項目	検査
1	会議費	
2	郵便郵送料	
3	通信費	
4	講習会参加費	
5	光熱水費・通信費	
6	消耗品購入	○
7	修理	○
8	外国出張旅費	
9	国内出張旅費	
10	謝金	
11	学会等参加費	
12	賃貸借・レンタル	○
13	人件費・社保	
14	図書資料等購入	○
15	委託研究・共同研究	
16	法人カード(消耗品購入)	
17	法人カード(学会等参加費)	
18	家電リサイクル及び衣類等洗濯費	

19	ライセンス・使用許諾料	
20	その他	

表 4-2 予算使用票の起案種別による支出決定合議の有無

No.	項目	支出決定合議
1	会議費	×
2	郵便郵送料	×
3	通信費	×
4	講習会参加費	×
5	光熱水費・通信費	×
6	消耗品購入	○
7	修理	○
8	外国出張旅費	×
9	国内出張旅費	×
10	謝金	×
11	学会等参加費	×
12	賃貸借・レンタル	○
13	人件費・社保	×
14	図書資料等購入	×
15	委託研究・共同研究	×
16	法人カード(消耗品購入)	○
17	法人カード(学会等参加費)	×
18	家電リサイクル及び衣類等洗濯費	○
19	ライセンス・使用許諾料	○
20	その他	○

## 2.4.2 進捗管理システム業務管理用 IF の追加

下記①～②の要件を満たすこと。

- ① 請求番号に対する一般検査情報を示す IF を構築すること。IF には以下に示す内容を含むこと。
  - (1) 請求番号
  - (2) 検査回数
  - (3) 一般検査日
  - (4) 請求書登録決裁状況
  - (5) 請求書登録決裁処理日
- ② 予算使用票・収入票の請求書登録業務に関して業務進捗状況を示す IF を構築すること。IF には以下に示す内容を含むこと。
  - (1) 請求番号
  - (2) 請求担当者
  - (3) 支払相手先
  - (4) 請求書登録決裁状況
  - (5) 請求書登録決裁処理日時
  - (6) 一般検査有無
  - (7) 支出決定合議有無
  - (8) 確定差引日

請求書登録決裁状況について、請求書発行システムで請求書発行処理の決裁が完了した場合についても、電子決裁システムで決裁した場合と同様に完了済みとして扱うこと。

## 2.4.3 予算使用票等請求業務帳票における確定差引日および支払日の表示

下記①～④の要件を満たすこと。

- ① 予算使用票等請求業務画面から出力される予算使用票・収入票の帳票について、出力時に確定差引日が確定している場合は確定差引欄にその日付を表示すること。
- ② 確定差引日は次の条件によって決定される。
  - (1) 当該案件の起案種別が管財担当部署による検査を要としている場合、その一般検査日を確定差引日とし、一般検査決裁完了後から確定とする。
  - (2) 当該案件の起案種別が経理課の支出決定合議を要としている場合、請求書登録時に入力された登録年月日を確定差引日とし、支出決定合議の完了後から確定とする。
  - (3) 上記以外の場合、請求書登録時に入力された登録年月日を確定差引日とし、請求書登録についての決裁完了後から確定とする。
- ③ 支出決定合議が行われる場合の確定差引日を確定させるために、進捗管理システムにおける支出決定合議の決裁完了通知を受け取る IF を作成すること。
- ④ 予算使用票等請求業務画面から出力される予算使用票・収入票の帳票について、出力時に財務会計基本システムで当該案件の支払処理が実施されている場合、入力されている支払日を参考情報として欄外に表示すること。

## 2.5 契約管理支援システムへの請求書電子処理機能追加作業

### 2.5.1 概要

下記①の要件を満たすこと。

画面は図 5-1 を参考にする。

- ① 契約管理手続画面の業務選択：照会において、当該案件が契約締結済みの場合に請求書受領タブを表示すること。当該タブには進捗管理システムの当該案件に関する詳細画面へのリンク及び取引先ごとの請求書登録情報を表示すること。

契約管理手続 (FAIC01G10) 電子決裁一覧 帳票一覧 ヘルプ 戻る

【所属】業務DX推進室 【氏名】OAOO09 【処理日】R07/12/21 09:54:18

業務選択: [照会] 印刷選択: [-----] 決裁帳票差替 印刷 Eメール送信 CSV出力

契約請求の電子決裁状態 対象外

編集 登録 履歴 クリア 削除

決裁差戻 修正差戻 紙決裁 電子決裁 決裁ルート操作 決裁差戻 決裁引戻 状態を戻す

契約管理番号: 0801C00004 -04 状態: 「精算供覧書」回付中 請求起案箇所: 事業契約第2課

件名: 複数年契約 (2) 電子決裁: 対象外

請求担当者: VHCK02 内線番号: 0202 E-メール: test@example.com

---

業務手続詳細 契約データ 請求担当者連絡 **請求書受領**

### 進捗管理システム

取引先：会社0000000100

検査回数	受領日	決裁完了日	金額
1	R08/05/06	R08/05/07	150,000
2	R08/06/02	R08/06/07	150,000

取引先：会社0000000300

検査回数	受領日	決裁完了日	金額
1	R08/05/06	R08/05/07	150,000
2	R08/06/02	R08/06/07	150,000

既に処理した請求書の情報を債主別に表示

図 5-1 契約管理支援システムにおける請求書受領タブ

## 2.6 財務契約系フロントシステムと請求書発行システムのデータ連携機能追加

### 2.6.1 概要

下記①～④の要件を満たすこと。

- ① 請求書発行システムに財務契約系フロントシステムでの予算使用票（戻入）・収入票の起案処理情報を連携する IF を作成し、予算使用票（戻入）・収入票の起案処理に関する決裁完了時にそれに関する情報を請求書発行システムに送付すること。
- ② 請求書発行システムの起案時に入力される関連契約番号について、実施回議情報が予算使用票（戻入）・収入票の場合、①で連携された番号の中に存在するものか存在チェックを行うこと。
- ③ 請求書発行システムの起案時に入力される項目に「相手先」を追加し、実施回議情報が予算使用票（戻入）・収入票の場合、①で連携された情報の中から関連契約番号を基に選択できるようにすること。
- ④ 財務契約系フロントシステムに請求書発行システムにおける予算使用票（戻入）・収入票の請求書発行情報を連携する IF を作成し、請求書発行決裁完了時に財務契約系フロントシステムに当該情報を送付すること。

依頼年月日	必須	
拠点	必須	
会計年度	必須	R07
寄附金		<input type="checkbox"/>
管理番号		承認後に発番されます
関連番号		
請求書発行日	必須	YYYYMMDD 日
依頼者所属	必須	システム計算科学センター 業務DX推進室
依頼者名	必須	山口 聡
内線	必須	81-3773
メールアドレス	必須	yamaguchi.ryo91@aea.go.jp
承認通知のメールアドレス	必須	上記以外で、財務課承認後に通知される課室内関係者のメールアドレス(複数の場合半角カンマ区切り)を指定して下さい。
実施回議情報	必須	<input type="radio"/> 収入票 <input type="radio"/> 予算使用票戻入 <input type="radio"/> 契約回議書 <input type="radio"/> その他
関連契約番号等	必須	
相手先	必須	
エビデンス添付ファイル	必須	+ ファイル追加... ファイル名 削除
押印欄	必須	<input type="radio"/> 公印省略 <input type="radio"/> 印影 <input type="radio"/> 公印押印 (原則、公印省略とします)
件名	必須	
請求先	必須	

図 6-1 請求書発行システムにおける請求書発行依頼画面

## 2.7 請求書電子処理機能追加作業に対する試験

### 2.7.1 請求書電子処理機能追加作業に対する試験

- (1) 本仕様書「2.1 全体概要」、「2.2 進捗管理システムへの請求書電子処理機能追加作業」、「2.3 財務契約系電子決裁システムへの請求書電子処理に関するマスタ追加作業」、「2.4 財務契約系フロントシステムへの請求書電子処理機能追加作業」、「2.5 契約管理支援システムへの請求書電子処理機能追加作業」、「2.6 財務契約系フロントシステムと請求書発行システムのデータ連携機能追加」にて機能追加した内容を、発注者が保有する「財務・契約系情報システム Ver. 5」の検証環境、及び共通基盤ワークフローシステム上に構築された「請求書発行システム」の検証環境を用いて試験を行うこと。
- (2) 試験を実施するにあたっては、検査要領書を1週間前までに提出し内容の確認を得ること。
- (3) 検査は、原則として発注者及び受注者の立会いのもとで行い、検査要領書に基づいて機能ごとに実施すること。
- (4) 運用環境の実運用データのコピーを用いて試験を行うこと。ただし、本追加機能の試験に必要なデータが不足していた場合には、受注者が試験データの追加登録を行うこと。

以 上